出産手当金請求書

※ 札幌市の職員は、産前・産後休暇については特別休暇により有給であるため、標準報酬日額(標準報酬 月額÷22)×2/3が対象期間に支給された報酬日額を上回る場合のみ、手当金の対象となります。

	組合員 記号番号	<u>.</u>	組合員5 (フリガナ)	 氏名				所属								
	_		(*),, ,								(所	属TEL)	
	資格取得日		年	月	月	資	格 喪	失	日			年		月	日	
組	出産予定日		年	月	目		出産	日				年		月	日	
合	勤務できなかった期間		年	月	目	カル)			年	J	1	目	まで		
員	多児妊娠の有無	無	· 有(児)												
	請求期間		年	月	日	カル	,			年	J]	目	まで		
記	標準報酬月額	等級	級		質					円請	求金額				円	
入	振 込 先			銀行			本		預金	種目		座番号(は銀行は打				
欄	金 融 機 関 ※組合員名義			金庫 組合 _{ゆうちょ:}	銀行は振込月	7 -t- rt- 62	支 _(3桁) 音		普	通						
作制	上記のとおり記	達 化 1 %		州山 口 ゆうらよ	銀行は振込月	月文店名!	(3桁) 📮	Ŧ								
								ı								
	(あて先)札幌市	†職員!		理事長			产記									
	(あて先) 札幌市	†職員∮ 年	共済組合 月	理事長 日	組合	員	住所									
	(あて先) 札幌市				組合	 ■	住所氏名									
医師								定 1	3			年	J	<u> </u>	日	
師又	(あて先) 札幌市					占 産	氏名		3			年 年	J.		日日	
師又は			月		出	出 出	氏名	月		生產		•	F]		
師又は助産	出産者氏名	年	月	児	Ц	出 出	氏名	月		生産年		年	F]	日	
師又は助産師	出産者氏名 出産児の数 上記のとおり	年	月	児	Ц	出 出	氏名	月				· 年 死産(F	第	日	
師又は助産師の証	出産者氏名出産児の数	年	月	児	Ц	出 出	氏名	日の別				· 年 死産(F	第	日	
師又は助産師の証明	出産者氏名 出産児の数 上記のとおり 医療機関等の	年	月	児	Ц	出 出	氏名 产 産 ・死産	日の別				· 年 死産(F	第	週)	
師又は助産師の証明所	出産者氏名 出産児の数 上記のとおり 医療機関等の	相違な	けことを	児 証明す	世 - る。	出生産	氏名	日の別				· 年 死産(F	第	週)	
師又は助産師の証明所属長	出産者氏名 出産児の数 上記のとおり 医療機関等の 所在地及び名称	相違な	けことを	児 証明す	世 - る。	出生産	氏 予 産 産 医助氏 す。	日の別				· 年 死産(F	第	周)	
師又は助産師の証明所属	出産者氏名 出産児の数 上記のとおり 医療機関等の 所在地及び名称	相違な、	月 いことを 事実と相	見を証明す	世 - る。	産出生産	氏名	日の別				· 年 死産(F	第	週)	

【添付書類】

- □ 組合員名義の普通預金口座の通帳又はキャッシュカードの写し
- □ 出勤簿及び休暇簿の写し

共	⇒¬ .	出産手当金	≩ 220 −			24	事務局長	課長	係 長	係
済使	記入			日数	日	決裁		·	·	
用欄	欄	支給期間		金額	円					

		貴番号					_	氏名							_ に係る報酬について、						
	以下のとおり証明する。 支給開始月以前の直近12か月の平均標準報酬月額 円																				
		/ I'mt Ntte tun mili				A 4H A	-	T 16-17	NAS AN WILL	D for - 1	- 7. 1 2.	円	* 4-b \								
	(標準報酬月額の期間が12か月に満たないときは、直近各月の平均標準報酬月額と、全組合員の平均標準報酬月額のうち少ない額																				
	Ħ	請求期間(原))				日から目まで	日から 日まで 年		月月		1から 1まで		年 年	月月	日から 日まで					
						務日数	_				日					日				日	
				经彩.	又	給割合	1				割円					割円				<u>割</u> 円	
	給料 地域手当										円					円				円	
給		(7)	手 当	i				円					円				円	
\vdash		()	手当	i				円					円	円				
与	報酬)	手 当					円					円	円				
担		()	手当					円					円				円	
	**		通勤毛	·当(1か	日分り	チョ	-				円円					円円				<u>円</u> 円	
当				期間中の			+				円					门 円				円	
果			地手当(R7.9以前	直近の	支給総額	頁)															
Z	<u> </u>	(R7.10以降 ※ 特殊勤利				n= 1747	勤務領	実績に	基づい	て翌月	以後に	支払う執	受酬及ひ	が期末	、勤免	円 <u></u> 歩手当に	は除く			円	
よ		※ 通勤手※ 寒冷地	手当は、	令和7年	年9月ま	での請	求期	間分に	ついて	は、直流		合した額	を月額	換算	せず絲	総額で訂	己載。				
	,	令和7年 ※ 1か月を									があると	さは、追	最初の権	闌に怱	重を記:	載し、そ	の他の	欄を斜	線で削	除	
3		象者の各報 期間、報酬和					調整を	を行った	た場合は	よその対	1		年	J	月	日	札		1	异	
Œ											耵	哉 名									
明																					
闌								氏 名							印					印	
											_	属機関	の長)								
		勤務に服する	ることが「	できなか			要しな 1	-	_	こ○を訂	己載	ロハ		l	п				月分		
		曜日	8	1 1 -	月分 22		ł	曜日		8	1 1 5	月分 2 2	ř 29		曜日		0	1.5	月 5 22		
	ŀ	1 2	9	15 16	23	29 30	1		1 2	9	15 16	23	30			1 2	8	15 16	23	29 30	
	ŀ	3	10	17	24	-	ł		3	10	17	24	31			3	10	17	24	31	
		4	11	18	25		j		4	11	18	25				4	11	18	25		
		5	12	19	26		-		5	12	19	26				5	12	19	26		
		6 7	13	20	27 28		1		6 7	13	20	27 28				6 7	13 14	20	27 28	+	
	期	令和7年9				ついてだ] 	全和7年					一覧式を	用いる	<u> </u>		11	21	20		
	間	① 通勤、			トの報酬	計	要	勤務日	数		通勤	勧、寒冷	地手当(月額)の計						
	1	\		- 40 WH							$+$ ($\stackrel{\square}{\square}$ \div 22) =										
	Ì	1						要勤務日数 通勤手当(月額)の計 日) + (円 ・ 円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・													
共	I / I																	1 1			
斉											円 ※退職の場合、日割る						れる報酬				
	/	/ 給付日額 支給済み報酬							日額 支給日数 給付決定額						は・安町務日数、日割され 報酬は÷22により日額を算					利されない jを算定す	
組)期	(円 - 円) × 日 = 円																			
合			寒冷地	手当以夕	トの報酬	計	要	勤務日	数		通勤	勧、寒冷	地手当(月額)の計						
記		② 通勤手	当以外	の報酬	H		要	勤務日	数		通動	動手当(月額)の			報酬日	: 円 報酬日額(1円未満切捨)				
入	/		e±næld ⊢	desi							(円	
闌	5	平均標準	基報酬月															酷の担え	と 日本リッ	れる報酬	
刚	/																は÷	要勤務日	数、日割	される報酬 利されない を算定す	
		(•								日 =					円	表 る。	• 441	5.7 円 1 5	, _ JF /L)	
)	支	給「					1 4/	前	口	支給	计分				今	口口	支 糹	分		
																				日まで	